

長野県の人権啓発活動報告

長野県では、一人ひとりの個性や多様性を尊重し、すべての人が互いに支えあいながら共に生きる「人権が尊重される長野県」をめざし、様々な広報啓発活動を実施しています。県では、7月を「人権について考える強調月間」とし、人権啓発活動を行いました。ここではその中の一部を紹介します。

7月14日 松本山雅FC冠試合「いじめNO！人権スペシャルマッチ」

J2リーグ第24節松本山雅FC対京都サンガF.C戦において、「いじめNO！人権スペシャルマッチ」を開催しました。当日は、入場ゲートでの啓発活動や松本山雅FC選手、監督による人権メッセージパネルの展示、選手、監督によるメッセージムービーの上映等を行いました。

また、試合前には加藤さゆり長野県副知事のあいさつや、いじめNO！フラッグピッチ1周などを行いました。



7月18日 企業人権セミナー



企業人権セミナーでは、「あなたの会社（組織）は大丈夫？～人権に配慮した個人情報の取扱い～」を上映すると共に、会津大学特任教授の山崎文明氏を講師に迎え、「インターネット社会と人権～事件・事故から学ぶ個人情報管理に対する企業の対策～」と題し講演を行っていただきました。

山崎氏の講演では、インターネットによる人権侵害を現実起こってしまったケースを交えながら講演していただきました。また、企業による個人情報の管理の甘さが、個人情報の漏えいにつながり結果的に大変深刻な人権侵害につながることや、実際に個人情報が漏えいしたケースでどのように漏えいしたのかもお話しいただき、参加者の皆様も真剣に耳を傾けていました。

7月22日 人権大使任命式

長野県では、県内のプロスポーツチーム4チームと連携し、人権啓発活動を行っています。

7月22日に人権大使任命式を行い、阿部知事から信濃グランセローズの篠田朗樹選手（三沢社長代理出席）、松本山雅FCの柿本倫明アンバサダー、AC長野パルセイロの土橋宏由樹アンバサダー、信州ブレイブウォリアーズの宇都宮正選手へ大使の任命書を交付しました。

また、大使任命にあわせ大使がモデルとなったポスターを披露しました。

今後、ホームゲームでの人権啓発活動や、人権スポーツ教室等を県内プロスポーツチームと連携して行っていきます。



今でも身近に存在する同和問題

人権・男女共同参画課への差別事象の報告、人権啓発センターの相談の中には、次のような同和問題に関する事例がまだまだ存在しています。

- 市町村役場に、「△△市に、同和地区はありますか。同和地区がある市町村に本籍を置きたくない。」とか、「結婚に関連して、〇〇は、同和地区ですか。」などの問い合わせがありました。
 - 架空の団体名を名乗り、「同和関係者の広がり調べている。」旨のがきが届きました。
 - 「交際相手が同和地区出身であることから、親族から結婚に反対されて悩んでいる。」との相談がありました。
- ※いずれも、同和問題を正しく理解していない、許されない差別です。

他にも、人権啓発センターには次のような相談が寄せられています。

- 何十年ぶりに小学校の同級会が開かれ参加した。一人の女性から、当時は男子に苛められて登校するのが苦痛だったと初めて聞かされた。
 - 子どもの頃、父親の母親へのDVを間近に見て育った。母は亡くなったが、そのことで今も苦しんでいる。
- ※被害の記憶はいつまでも消えず、深刻な後遺症を残します。女性差別は大きな人権問題、DVは犯罪です。一人で悩まず、専門機関に相談してください。

思いやりの心を持つとともに、多様な人権問題について正しい理解をし、人権を尊重する意識を育みましょう。

人権啓発センターでは、地域や職場などで企画する人権に関する学習会等に講師を派遣していますので御活用ください。（詳細は、4ページを御覧ください。）

さまざまな人権課題から

障害者雇用

障害のある人も、ない人も、ともに地域の中で生き生きと働き暮らすことが出来る社会をつくることは、長野県においても重要な課題です。平成25年4月1日から、一定規模以上の民間企業における障害者（身体障害者、知的障害者）の法定雇用率が2.0%になっています。

虐待・DVは人権侵害、犯罪です。気付いたら通報・連絡を!!

長野県児童虐待・DV24時間ホットライン 電話：0263-91-2410
児童虐待は各地の児童相談所、子どもの人権110番 電話：0120-007-110（平日8:30～17:15）

女性のDVは各地の社会保健福祉事務所

長野県女性相談センター相談専用電話 電話：026-235-5710
女性の人権ホットライン 電話：0570-070-810（平日8:30～17:15）